

こどもレポーター体験について

<取組概要>

7月25日に大野城まどかぴあで行われる「大野城 子ども伝統芸能体験フェスタ」にて、講座受講者が伝統芸能を体験し、こどもたちの視点を活かした情報発信を行う。講座内で、自身の考えや感じたことを文章や対話で共有する場を設け、表現する力を養うとともに、取材対象者とのコミュニケーションを通じて社会性の向上を図る内容とする。

(1) 目的
①芸術文化への興味や関心を育てること 子どもたちが「芸術文化活動」に触れることで、その魅力や面白さを理解し、自分たちの視点で芸術文化の価値を発信する機会を提供する。 ②子どもたちの視点を活かした情報発信 子どもたちならではの視点で「ツナグト」を通じて市民全体に芸術文化の魅力を伝える。 ③コミュニケーション力や表現力の向上 レポーター活動を通じて、自分の考えや感じたことを文章や対話で表現する力を養うとともに、取材対象者とのコミュニケーションを通じて社会性の向上を図る。 ④芸術文化コミュニティの形成 子どもレポーター同士、取材対象者と交流することで、芸術文化を通じたコミュニティ形成を促進する。
(2) 開催日時
令和8年7月25日(土) 午前10時～午後3時(1時間の昼休み含む)
(3) 対象者
大野城市内の小学4年生～中学1年生
(4) 場所
大野城まどかぴあ306会議室
(5) 講座内容
①アイスブレイクワーク ②取材準備(取材の知識を学ぶ) ③「子ども伝統芸能体験フェスタ」を体験取材 ④レポートまとめ作業 ⑤発表
(6) 講師
坂口麻衣子さん(株式会社ホーホウ)
(7) 講座終了後について
・後日写真や原稿を「ツナグト」サイトに掲載 ・Instagramに掲載